

学生諸君へ

桜が咲き、花卉が舞う頃に入学、進学し新たな学期を迎えることを我々は幼稚園、小学校、中学校、高校、大学と繰り返して来ました。

これが先の世界大戦の一時期を除けば、当たり前の日常でした。

現在、我々の置かれている状況は避難し、疎開している正に戦時下の状況です。敵はコロナウイルスです。

ウイルスとは核酸とその容器であるカプシドからなるヌクレオカプシド（コロナウイルスの場合はこれに外膜ともいべきエンベロープを持つビリオン）を形成する非生物です。その為増殖するためには、細胞質を有する生物に寄生し、核酸とカプシド（構成単位であるカプソマー）を別個に増殖させます。また、核酸にはDNA（デオキシリボ核酸）、RNA（リボ核酸）があるようにウイルスにも有する核酸によってDNAウイルス、RNAウイルスの2種類があります。

DNAウイルスの代表的なものは天然痘、RNAウイルスの代表はインフルエンザ、風疹、麻疹、ムンプス、エイズですが、致命的なものの代表は2002年中国から発生したサーズ（SARS）、2014年アフリカで発生したエボラ出血熱、リオ・オリンピックの2016年に話題となったジカ熱があります。

今回の新型コロナ（COVID-19）はSARSと同じコロナウイルス（エンベロープを有する）です。一般的にDNAウイルスは変異が少なく終生免疫が得られますが、RNAウイルスは変異しやすく各変異株に対してのワクチンの開発が必要となります。

ウイルスの拡散は飛沫によるものです。皆さんが近接して会話したり、食事をしたりすると飛沫したウイルスが直接または汚染した食物や容器を介して経鼻、経口的に体内に侵入します。

現在日本政府は「密閉、密集、密接」の3密を避けるように指示しています。そのため社会機能にも変化が起こっています。

テレワーク、デリバリーサービスなどの対策が進んでいます。麻生塾でもテレワークと共にテレコミュニケーションを採用したオンラインによる授業の導入を始めています。

人間の歴史は進化の歴史と言って過言ではありません。

起立歩行を開始し、社会（チーム）を構成し、石器や狩りの道具（アトラトル）を開発して激しく変化する環境に対応してきました。哺乳類の祖先である鼠ほどのラオレステスは巨大な恐竜の脅威に対し、耳小骨を進化させ聴力を高め、更に脳のネットワークを開発して「考える哺乳類」となっていました。

我々ホモサピエンスは祖先が考えることで進化させてきた前頭連合野を有しています。

基本は①互いを尊重し共感できる事（眼窩前頭野）、②優先して進むべき道をリードすること（背外側前頭前野）、③発生する課題を解決できる事（前帯状回）です。

君たちが進もうとしている医療の現場ではウイルスとの戦いが進行しています。彼らは単にウイルスを脅威として恐れおののくのみではなく、これまでの経験と知識を総動員し思考を活性化して、この逆境を乗り越ろうとしています。我々も彼らに全てを委ねるのではなく、今我々が出来る「3密を避ける」などのウイルス対策を思考し、実践して行きましょう。

安藤廣美  
麻生リハビリテーション大学校  
麻生看護大学校